

## 1月定例教育委員会 議事録要旨

日時：令和3年1月15日 13：30開会

場所：中津市役所3階大会議室

出席者：栗田教育長、中島委員、自覚委員、横松委員

大下教育次長、大江教育総務課長、小畑学校教育課長、岩丸社会教育課長、  
磯貝小幡記念図書館長、山本生涯学習推進室長、友野学校教育課主幹、  
木村教育総務課主幹

### ○1月教育委員会報告

栗田教育長から、1月時における教育委員会事務局の動き等報告。

### ○中津市教育委員会会計年度任用職員の任用、報酬、勤務条件等に関する規則の一部改正について

大江教育総務課長から、議案内容について説明。

・教育補助員や学習補助員などの具体的な仕事は。

→教育補助員は、特別な支援を必要とする子どもたちに支援をしていく、例えば、授業中に先生が指示したことができていくかというようなときに、そこの支援をしていただきます。学習補助員は、教員免許を取得している方で、単独で授業をしていただく方と、先生のチームティーチングのT2という役割をしていただく方の2つあります。学習指導員は、新型コロナウイルス感染症対応のため、児童生徒数の多い学級の授業の補助で、1クラス35人以上いる学年に1人指導員さんを配置して、先生方の負担を少しでも軽減していただくという仕事になっています。GIGAスクールサポーターは1人1台端末が入り、ICTの活用が求められているので、小中学校におけるICTを活用した授業づくりに関するサポートをしていく方となります。外国語指導員は、小学校の英語授業それから中学校の英語指導で、担当の先生とチームティーチングで授業を行うときに、英会話の手伝いということで、指導に入らせていただきます。

・新設される学習指導員と教育補助員の違いは。

→教育補助員は障害のあるお子さんや特別支援関係の支援で、学習補助員は教員免許のある方で単独で授業ができる方、また、非単独は、教員免許は持っているが、単独の授業をしない方でチームティーチング指導をしていただく方です。

・GIGAスクールサポーターはどれぐらいの人数を考えているのか。

→GIGAスクールサポーターは、中津市内で現状2人ということで考えています。いろいろな環境整備というところで、システムサポートやソフトの管理、マニュアルのルールづくりなどを行ってまいります。実際の授業で支援される方はICT支援員という形で、想定しているところです。

その他特に意見等なく、賛成多数で承認した。

【裏面につづく】

## ○令和3年中津市成人式の開催報告について

山本生涯学習推進室長から、内容について報告。

- ・W e b 成人式で先生以外の方のメッセージを入れたのは、実行委員さんのアイデアだったのか。  
→通常であれば、お祝いのメッセージについては、時間が限られていますので、実行委員が学校の先生の中で選んでいましたが、今回はW e b 開催で多少時間も取れますので、こちらのほうから地域の方とかお世話になった方とか、そういう人もいます。その中で児童クラブとか子ども教室とか交通安全の人とか、ここは実行委員会から出たのか、こちらが紹介したのか分かりませんが、新成人がお世話になった人に取材に行き、すぐ協力をしていただきました。

その他特に意見等なかった。

## ○その他

小畑学校教育課長から、文部科学大臣優秀教職員表彰を受けた如水小学校の吉田多恵子指導教諭、及び中津南高校耶馬溪校について報告。

教育委員から

- ・少人数学級について中津市の現状と今後の展望は。  
→現在小学校1、2年生については30人学級を実施しています。ただ、県の基準で1学級が18人という下限がありますので、1学年31人であっても2クラスにすることは、まだできない現状であります。3年生から6年生については、普通どおりの40人学級ですが、今後、県の動向など注視していかなければいけないと考えているところです。